

引用文献

- 青島美佳, 山口裕幸. (2021). リーダーのための心理的安全性ガイドブック. 労務行政.
- Arnold L, Stern DT. (2006). “What is medical professionalism?” Measuring medical professionalism. Oxford university press, 15-37.
- 團野一美. (2018). 特集うちの 24 時間対応体制どうしていますか「緊急対応」の体制. 訪問看護と介護. 23 (7), 476-478.
- Edmondson, E. (2009). Psychological Safety and Learning Behavior in Work Teams. Administrative Science Quarterly, 44 (2), 350-383.
- エイミー・C・エドモンドソン. (2014). 野津智子(訳), チームが機能するとはどういうことか「学習力」と「実行力」を高める実践アプローチ. 英治出版.
- エイミー・C・エドモンドソン. (2021). 野津智子(訳), 恐れのない組織「心理的安全性」が学習・イノベーション・成長をもたらす. 英治出版.
- 藤崎郁. (2002). ボディイメージの変化に対処していく周手術期患者の「力」とその具体的方略に関するマイクロ・エスノグラフィー. 看護診断. 7 (1), 91-102.
- 藤田結子, 北村文編. (2013). 現代のエスノグラフィー 新しいフィールドワークの理論と実践. 新曜社.
- 藤原立樹, 平野暁教, 田中千陽, 片桐絢子, 向後寛子, 櫻井啓暢, 高橋賢一朗, 伊達数馬, 林啓太, 丸野恵大, 吉野邦彦. (2020). 企画コラム 若手のための働き方改革 都内における若手心臓血管外科医の当直とオンコール体制の実状に関する調査. 日本心臓血管外科学会. 49, 3-U1-U6.
- ジョージ・コーリーザー, スーザン・ゴールズワージー, ダンカン・クーム. (2018). 東方雅美(訳). セキュアベース・リーダーシップ〈思いやり〉と〈挑戦〉で限界を超えさせる. プレジデント社.
- 長谷川幹子, 小林道太郎. (2022). ナースコールが頻回な ALS 患者に関わる看護師の経験：解釈学的現象学的記述. 日本看護科学学会誌. 42, 614-622.
- 原子英樹, 寺田悦子. (2018). 特集うちの 24 時間対応体制どうしていますか「緊急対応」の体制. 訪問看護と介護. 23 (7), 470-472.
- 一般社団法人全国訪問看護事業協会. (2016). 訪問看護ステーションにおける 24 時間対応体制に関する調査研究事業報告書.
- 岩本大希. (2018). 特集うちの 24 時間対応体制どうしていますか「緊急対応」の体制. 訪

- 問看護と介護. 23 (7), 487-489.
- 門倉佳子. (2010). 【利用者・家族が安心できる夜間・休日の訪問看護体制】<報告(2) 鶴巻訪問看護ステーションしぶさわ> 24 時間対応体制のポイントは情報共有・チームワーク・医師との連携. コミュニティケア. 12 (11), 22-25.
- 門脇睦子. (2010). 【利用者・家族が安心できる夜間・休日の訪問看護体制】<報告(4) 苫小牧地域訪問看護ステーション> 柔軟で質の高い看護を実践 広域に住む本人・家族を支える. コミュニティケア. 12 (11), 34-38.
- 金井壽宏, 佐藤郁哉, ギデオ・クンタ, ジョン・ヴァン・マーネン. (2010). 組織エスノグラフィー. 有斐閣.
- 川越厚, 松浦志のぶ, 染谷康子, 大金ひろみ. (2008). ケア期間からみた在宅ホスピスケアの問題-短期間(7 日以内)で終了する末期がん患者の在宅ケア-. 癌と化学療法. 35, (1), 16-18.
- 菊地由紀子, 石井範子. (2016). 訪問看護師の夜間オンコール業務と負担感および睡眠への影響. 産業衛生学雑誌. 58 (6), 271-279.
- 小村三千代. (2011). 沈黙の底に潜む看護師と患者の相互作用—筋ジストロフィー病棟におけるエスノグラフィー. 日本看護科学学会誌. 31 (3), 3-11.
- 厚生労働省. (2014). アフターサービス推進室活動報告書(Vol.15: 2014 年 3～6 月) 訪問看護ステーションの事業運営に関する調査.
<https://www.mhlw.go.jp/iken/after-service-vol15.html>
- 厚生労働省. (2017). 労働時間の適正な把握のために使用者が講ずべき措置に関するガイドライン.
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/roudoukijun/roudouzikan/070614-2.html
- 厚生労働省. (2019). 医療従事者の需給に関する検討会 看護職員需給分科会.
<https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000117670.html>
- 厚生労働省. (2020a). 社会保険審議会 介護給付費分科会 第 182 回 資料 3 訪問看護
<https://www.mhlw.go.jp/content/12300000/000661085.pdf>
- 厚生労働省. (2020b). 令和 2 年度 厚生労働省委託事業「医療機関の勤務環境マネジメント改革支援推進事業」トップマネジメント研修 資料 1. 病院長が押さえておくべき医師の働き方改革に関する政策動向と勤務環境改善のポイントについて. 厚生労働省 医政

局医事課 医師等医療従事者の働き方改革推進室.

https://iryoku-kinmukankyou.mhlw.go.jp/pdf/information/2019/20210319_1.pdf

厚生労働省. (2021). 第1回在宅医療及び医療・介護連携に関するワーキンググループ 参考資料 在宅医療の現状について.

<https://www.mhlw.go.jp/content/10800000/000842258.pdf>

眞鍋有美子. (2018). 特集うちの24時間対応体制どうしていますか「緊急対応」の体制. 訪問看護と介護. 23 (7), 473-475.

松崎忠樹, 白髭豊, 藤井卓, 詫摩和彦, 落義男, 影浦博信, 谷川健, 鶴田雅子, 出口雅浩, 安中正和, 山根豊, 小森清和. (2013). 機能強化型在宅療養支援診療所への対応について～長崎在宅 Dr. ネットにおけるアンケート調査より～. ホスピスと在宅ケア. 21 (3), 326-327.

箕浦康子. (1999). フィールドワークの技法と実際 マイクロエスノグラフィー入門. ミネルヴァ書房.

箕浦康子. (2009). フィールドワークの技法と実際Ⅱ 分析・解釈編. ミネルヴァ書房.

宮田靖志. (2023). 医療プロフェッショナルリズム教育：何をどう教えるか どう伝える？ 医療プロフェッショナルリズム～医学部のこれまでと薬学部のこれから～. 薬学教育. 7, 1-8.

水野道代. (2007). エスノグラフィーを用いて質的看護研究を行う 研究理念と研究方法の概要. 看護研究. 40 (3), 43-58.

長濱あかし. (2018). 特集うちの24時間対応体制どうしていますか「緊急対応」の体制. 訪問看護と介護. 23 (7), 483-486.

中野康子, 川村佐和子. (2016). 緊急電話受信時、訪問看護師が看護アセスメントに用いた情報の分析. 日本在宅看護学会誌. 4(2), 41-51.

中野康子, 川村佐和子. (2018). 緊急電話受信時における訪問看護師の看護判断一看護判断プロセスに焦点を当てて一. 日本在宅看護学会誌. 6(2), 45-55.

並木奈緒美. (2018). 特集うちの24時間対応体制どうしていますか「緊急対応」の体制. 訪問看護と介護. 23 (7), 479-482.

檜原理恵, 真継和子. (2014). 病院看護師の訪問看護ステーションへの就労意思に関する実態と関連要因. 大阪医科大学看護研究雑誌. 4, 60-67.

野田洋子. (2009). 【実現できる!24時間 365日の訪問看護】これで解決!訪問看護ステーションが直面している課題. コミュニティケア. 11 (12), 13-42.

- 落合佳子, 郷間悦子. (2015). 訪問看護師の今後 3 年以上の就業継続意思に関する要因の検討. 日本在宅ケア学会.
- 桶河華代, 田村恵, 上野範子. (2012). A 県における訪問看護ステーションの 24 時間オンコール体制の実態－管理者へのアンケート調査から－. 聖泉看護学研究. 1, 53-61.
- 岡藤美智子. (2010). 【利用者・家族が安心できる夜間・休日の訪問看護体制】＜報告(3) 訪問看護おかふじ＞ 小規模ステーションにおける 24 時間対応体制. コミュニティケア. 12 (11), 30-33.
- 大森純子. (2004). 高齢者にとっての健康『誇りをもち続けられること』農村地域におけるエスノグラフィーから. 日本看護科学学会誌. 24 (3), 12-20.
- Schein, E. H., & Bennis, W. G. (1965). Personal and organizational change through group methods: The laboratory approach. New York: Wiley.
- 椎名美恵子. (2018). 特集うちの 24 時間対応体制どうしていますか「緊急対応」の体制. 訪問看護と介護. 23 (7), 465-469.
- 椎名美恵子, 寺田悦子, 眞鍋有美子. (2018). 特集うちの 24 時間対応体制【座談会】24 時間をみてこそその訪問看護じゃないか. 23 (7), 490-497.
- 清水美子, 高橋美和子. (2015). 手術室オンコール体制への勤務変更に伴う体制の整備と効果. 日赤医学. 67 (1), 125.
- 白髪昌世. (2016). 医療経営士 中級【専門講座】テキスト 8 チーム医療と現場力-強い組織と人材をつくる病院風土改革. 日本医療企画.
- 世古田悟, 廣瀬瞳, 池田佳奈美, 山根慧巳, 濱田聖子, 國枝佳祐, 堀田祐馬, 山田展久, 磯崎豊, 長尾泰孝, 小山田裕一. (2020). 当科における時間外入院診療のオンコール体制の導入効果. 日本消化器病学会誌. 117 (9), 779-787.
- 孫瑜, 伊藤智子, 佐方信夫, 黒田直明, 田宮菜奈子. (2022). 在宅医療において新設された機能強化型在宅支援診療所の役割に対する検証：入院、往診、看取りに着目して. 日本プライマリ・ケア連合学会. O-52, 32-41.
- 滝口美重. (2018). 〈総論〉増大する夜間・土日の定期訪問へのニーズ対応の方策と課題. コミュニティケア. 20 (4), 50-54.
- 玉木克志. (2003). ナースコールに求められる新たな機能に関する研究. 日本医科器械学会. 73 (4), 200.
- ジェイムズ P. スプラッドリー. 田中美恵子, 麻原きよみ(監訳). (1980/2010). 参加観察法入

門. 医学書院.

角田秋. (2019). 訪問看護ステーションが統合失調症を有する人へ提供する支援－電話対応

をしたケースとその支援の特徴－. 東京有明医療大学雑誌. 11, 1-10.

内野綾香, 笹野美沙, 村山鈴香, 正野逸子. (2016). 訪問看護師の 24 時間オンコール体制に対

するストレスと対処行動. 産業医科大学雑誌. 38, (1), 117.

山口裕幸. (2020). 組織と職場の社会心理学. ちとせプレス.

Walker, L.O., Avant K.C. (2005/2019). Strategies for Theory Construction in Nursing Sixth

Edition. Pearson Education. Boston, US.

Webb, E. J., Campbell, D. T., Schwartz, R. D., Sechrest, L. (1999). Unobtrusive Measures

(SAGE Classics Book 2) (English Edition) 1st. SAGE Publications, Inc.

渡邊和美, 大竹まり子, 小林淳子. (2019). 呼吸困難を抱えた看取り期の在宅療養がん患者と

家族への訪問看護師による支援の実施状況と先行事例経験との関連. 日本在宅看護
学会誌. 7(2), 44-52.